



水草バンクシステム校を訪問

2003（平成15）年から実施している「水草バンクシステム」です。
 当初佐倉市内15校、印西市内4校（後に5校）でしたが、2011年の東日本大震災で放射能汚染の健康被害防止のため、プールや池などの水を止めたり、小学校の統廃合により減少。また、ザリガニやスイレンと一緒に水草が負けてしまい、断念した学校もあります。現在は12校の池で、印旛沼に生育していた水草を育ててもらっています。故笠井貞夫先生がご存命の頃から、ご自宅の“風呂桶の水槽”で保存されていた貴重な在来水草を奥様が引き継ぎ、13年以上手塩にかけて守って下さいました。本年（2020年8月）、この水草たち全てを12の小学校に移植しました。インバモ・ガガブタ・トチカガミは、どの学校にもありません。インバモは全校に、僅少のガガブタ・トチカガミ・イヌタヌキモと併せ学校の池に根付くことを祈り託しました。

訪問日記

① 8月5日：印西地区1校、 ② 8月6日：佐倉地区6校、 ③ 8月18日：臼井志津地区5校

1・山王小学校



◇インバモを移植
 ◇ヒメガマが生育

ヒメガマの近くの
 半日陰にインバモ
 を移植

2・佐倉小学校



◇インバモを移植

オオカナダモ(外来種)を除去
 笠井先生が赴任時代に造った
 印旛沼の形の池
 アサザが元気に生育

3・佐倉東小学校



◇トチカガミを移植
 ◇イヌタヌキモが繁茂

他の学校には無いので
 校長先生にイヌタヌキモを
 大切にしたいと依頼

4・寺崎小学校（1）



◇インバモを移植

メダカとアサザが
 共存する領域をわけ
 良好

5・寺崎小学校（2）



◇5月 見事に咲いた
 アサザの花

笠井先生をご存知の
 樋口先生が撮影して
 送ってくれました

6・弥富小学校



◇インバモ・アサザ・トチカガミ
 を移植

湧き水が入り込む池にプランター
 に数種を植え込み移植
 スイレン、コイと共存している

7・和田小学校



- ◇インバモを移植
- ◇アサザの花大きく開花

毎年アサザが大きく開花して
いて良好
インバモを移植し、環境の
良い池なので根付きを期待
する

8・いには野小学校(1)



- ◇アサザ・インバモを移植
- ◇教頭先生と並んで

昨年ザリガニをすべて除去
してくれたので、以前のよ
うな池の復帰をめざす

9・いには野小学校(2)



- ◇プランターにアサザ
インバモを植付けて
池に沈めた

今後徐々に種類を増や
していきたい

10・志津小学校



- ◇アサザ・インバモ・ガガ
ブタを移植

ザリガニがいたためにアサ
ザが少なくなっていた
ザリガニ2匹を除去

11・王子台小学校



- ◇インバモ・トチカガミ
を移植
- マツモが見事に繁殖して
いるので、舟戸水草園に
お里帰りさせるために頂
いた

12・千代田小学校(1)



- ◇インバモ・ガガブタ
を移植
- マツモが昨年同様繁茂
している
水が少なく草が生えて
いるので除去

13・千代田小学校(2)



- ◇最初の頃に移植した
ヒメガマが生育良好

アサザを他校に移植する
ために頂いた

14・染井野小学校



- ◇インバモ・タヌキモ
・トチカガミを移植
 - ◇千代田小からのアサ
ザを移植
- アオウキクサが増えて
いるので除去

15・間野台小学校



- ◇インバモを移植
 - ◇アサザ・マツモが繁殖
- 浅い池だが、インバモが
アサザやマツモに絡んで根
付くことを期待する
アオウキクサとオオカナダ
モ(外来種)を除去した

・・・編集後記・・・

2020 年は新型コロナウイルスのパンデミックに

終息する見込みは見えない毎日です。
水草関係の作業は、密を避け、体を動かし活動して
います。学校も大変な時期でしたが、電話で訪問の
許可を頂き、スタッフだけで移植した学校、また先
生方と池でお話できたりと、嬉しい出会いでもあ
りました。自粛の時期にふるさと広場やかっぱ公園
に多くの人が自然を楽しんでいるのを見て、印旛沼
の素晴らしさを改めて感じました。

アメリカザリガニは外来生物、在来水草は格好の餌。

在来水草の池には絶対入れないでくださいね。



アサザ:準絶滅危惧種



アメリカザリガニ:外来生物